



要支援者等の状態改善に向けた課題

【地域包括支援センターへの利用者意見】

- デイサービスに通い続けることに意味がある。終了はありえない。
- 現行相当サービスに流せば、ずっと継続利用していいか？
- 友達が通っているから、〇〇デイサービス（現行相当サービス）に行きたい。
- ADLは自立しているが、認知症がある。現行相当サービスの利用しか考えられない。
- 高齢のため集中リハは合わない。送迎ありきですっと通えるデイサービスしかない。

【見えてきた課題】

多様なサービスをいくら創出しても、ケアマネジメントが変わらなければ総合事業は失敗する。

- (1) 利用者・家族への「自立支援」を説明することの難しさ
サービス利用ありきの利用者・家族等に、どう理解してもらうか。説明能力が問われる。
- (2) サービスや地域資源が多様化しても、プランは多様化しない
多様なサービス利用は、プランナーが多様な資源を把握し、そこにつなぐことの意義や価値を理解することからしか始まらない。

自立支援型のケアマネジメントを進めるためには、

「ケアマネジメントの質向上」及び「後方支援」が必須課題

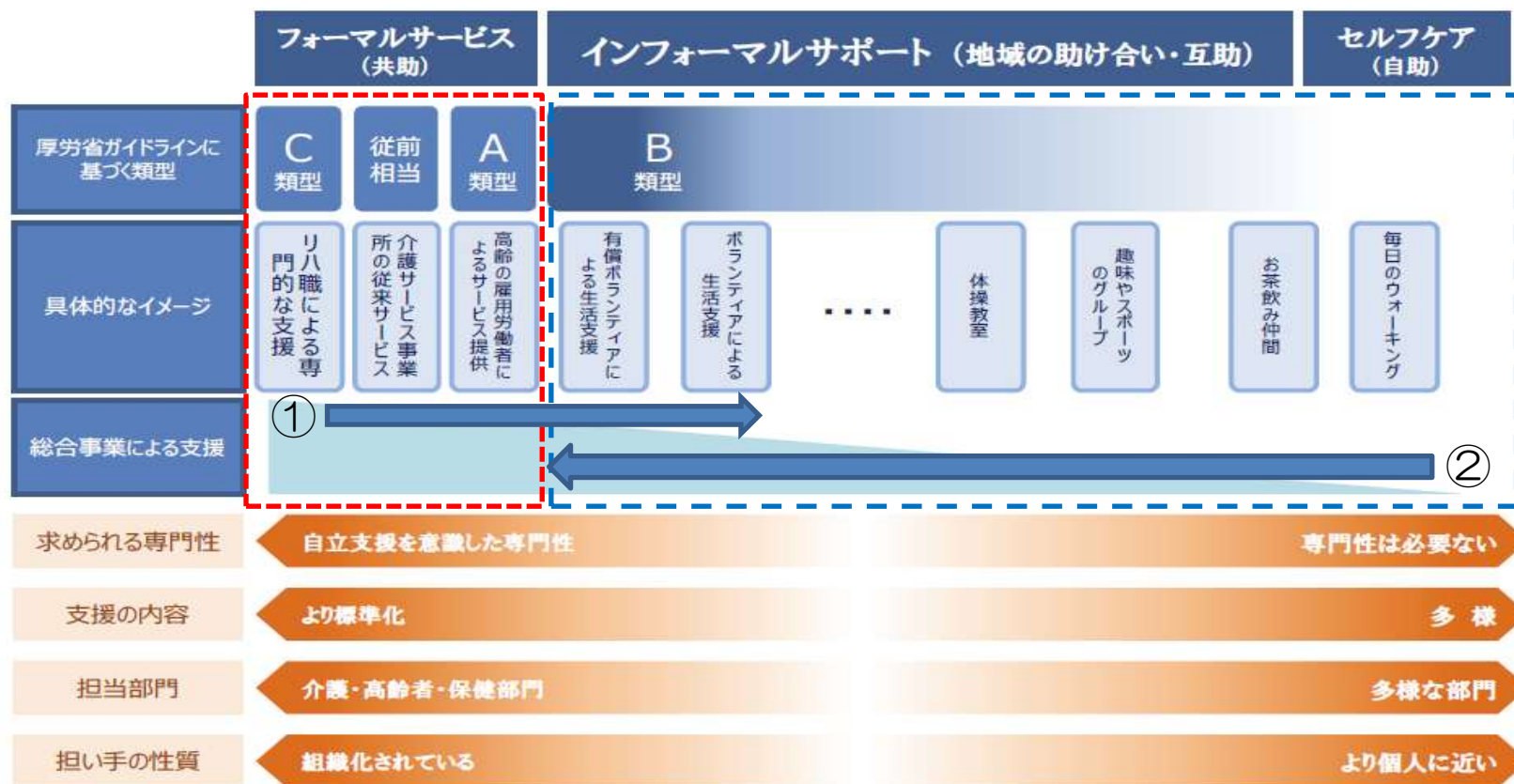


自立支援型の介護予防ケアマネジメント



本人の「自発性・参加意欲」と「継続性」をキーとした活動展開が必要

＜図表 8：ガイドラインの類型から考える「サービスづくり」と「地域づくり」＞



出典：新しい総合事業の移行戦略（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）